

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		省電力型街路灯整備				所管	都市づくり部 土木課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	116	計画事業名	省電力型街路灯整備		事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] II-2. うるおいのある生活環境づくり						[事業開始] 平成23年度		
		[小 柱] (1)低炭素社会づくり						[終了予定] - 年度		
		[施 策] ①都市の低炭素化の推進								
	根拠法令等	法令(義務)		[法令等名]	道路法、交通安全対策基本法、交通安全施設整備事業の推進に関する法律、地球温暖化対策の推進に関する法律					
	事業対象	直接の対象 : 一般区民、道路利用者 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	明るいまち整備事業で定めた照度基準を満たしながら、光源を省電力型街路灯のLEDに変更することで、電気使用量を抑え、温室効果ガスの排出削減を図る。								
	事業内容 [29年度]	省電力型街路灯整備 827基 平成30年度予定数量 735基								
委託の有無	なし		委託内容	なし						
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績		達成率
	活動指標	省電力型街路灯整備数		基	740	816	743	827	740	111.8%
		省電力型街路灯整備数(累計)		基	8,380	5,335	6,078	6,905	6,260	110.3%
	決算額 (単位:千円)					27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				151,740	133,160	144,828		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				7,218	8,025	5,866		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				0	0	0		
		総経費				151,740	133,161	144,828		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				158,958	141,186	150,694		
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0		
一般財源(区負担額)				7,218	5,488	5,866				
前回評価から29年度に改善した事項	なし									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	温室効果ガスの排出削減を図るため、環境に配慮した省電力型街路灯への転換を進める必要がある。							
	効率性	3	光源の照度や街路灯の仕様及び配置を工夫し、効率的に整備を行っている。							
	手段の適切性	3	地域特性に応じた照明を設置することで、夜間の安全を確保すると共に、快適な居住環境を創出している。							
	目的達成度	4	成果指標の目標は達成されており、着実に整備されている。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
区道における街路灯の省電力化は、環境負荷の軽減や電気料金の削減効果が高いことから、今後も事業を維持、継続し区民の快適な居住環境を創出することが必要である。また、水銀ランプ問題に対して、平成32年までにLEDへの改修を進める必要がある。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		